

学びの多様化プロジェクト 2024-2028 の策定について

町田市教育委員会では、急増する不登校児童生徒の学びの場の確保に取り組んでいます。2022 年度に、不登校施策を総括するため外部有識者を招き、「町田市不登校施策検討委員会」を立ち上げ、今後、市が不登校施策として取り組む事項を示すため「学びの多様化プロジェクト 2024-2028」を策定しました。

1 策定の背景

町田市における不登校（年間 30 日以上欠席）児童生徒数は、この 10 年間で 433 人から 1095 人と増加し、2.5 倍になりました。特に中学生の不登校発生率は全国より高い傾向にあり、2022 年度は全国が 6.0%のところ、町田市では 7.1%でした。

2016 年の「教育機会確保法」により、不登校児童生徒に対する教育機会を確保することが求められるようになりました。さらに 2023 年 3 月には、全国的な不登校児童生徒の急増に対し、文部科学省による「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）」が策定されました。

なお町田市では、2023 年 12 月に「町田市子どもにやさしいまち条例」が制定され、子どもが学びたいことを学べるようにすることや、相談支援を受けられることが盛り込まれています。

2 「学びの多様化プロジェクト 2024-2028」概要

全ての子どもが安心して育つまちとして、「学びの多様化プロジェクト 2024-2028」では、学校を休んでいる子どもの学びの場を確保し、必要な相談や情報につながる仕組みを整えるよう、取り組む事項を示しました。

・基本方針：「学校に行く子も行かない子も、安心して育つまちだ」

不登校は学校を休んでいるという「状態」を示す言葉に過ぎず、子どもたちは不登校というプロセスを経て、それぞれの自立に向かうと考えられます。町田市では、不登校支援は子どもの育ちを支えるプロセス支援であると捉え、相談先や学びの場等に繋ぎ、継続的に支援を行います。

・取組事項：（1）相談の場づくり
（2）学びの場の確保
（3）保護者への支援

・計画期間：2024 年度から 2028 年度の 5 か年

※ 不登校児童生徒の状況や社会的背景は常に変化するため、町田市不登校施策検討委員会において継続的な改訂を行います。